

日本標準商品分類番号	87273
承認番号	15900AMZ00968000
保険適用	1959年3月
販売開始	1959年3月
再評価結果	1982年8月



日本薬局方

口腔粘膜・根管消毒剤

劇薬

歯科用

ヨード・グリセリン

DENTAL IODINE GLYCERIN

貯 法：遮光・気密容器・
室温保存
使用期限：外箱等に記載

禁忌(次の患者には使用しないこと)

本剤又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者

併用禁忌(併用しないこと)

水銀剤(相互作用の項参照)

*組成・性状

	成分	100mL中の分量
有効成分	ヨウ素	10g
	ヨウ化カリウム	8g
	硫酸亜鉛水和物	1g
添加物	グリセリン	35mL

本剤は、暗赤褐色の液で、ヨウ素のにおいがある。

効能・効果

口腔粘膜(歯肉)及び根管の消毒

用法・用量

適量を綿球又は綿繊維につけ、局所に貼付する。

使用上の注意

相互作用

●併用禁忌(併用しないこと)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
水銀剤	ヨウ化水銀が発生し、誤飲した場合には吐き気、嘔吐をもよおす可能性がある	水銀剤との併用により毒性の強いヨウ化水銀が発生するおそれがある

副作用

●その他の副作用

1. 過敏症

発疹、口腔粘膜び爛等の過敏症状のあらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。

適用上の注意

歯科用のみ使用すること。

薬効薬理

本剤の主成分ヨウ素の殺菌消毒作用は、強力で速効性で¹⁾、ウイルス、細菌、細菌芽胞、カビなど広い範囲の微生物に対し、殺菌力を持っている²⁾。しかも、強力な殺菌作用に比較して局所作用は弱い¹⁾。また、かなりの組織浸透性を発揮する¹⁾。

ヨウ化カリウムは、ヨウ素の溶解補助剤である¹⁾。硫酸亜鉛水和物は、収れん作用と消炎作用を有する³⁾。

***有効成分に関する理化学的知見

1. 一般名:ヨウ素

化学名:Iodine

分子式:I

分子量:126.90

性状:本品は灰黒色の板状又は粒状の重い結晶で、金属性の光沢があり、特異なにおいがある。

本品はジエチルエーテルに溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けやすく、クロロホルムにやや溶けにくく、水に極めて溶けにくい。

本品はヨウ化カリウム試液に溶ける。

本品は常温で揮散する。

2. 一般名:ヨウ化カリウム

化学名:Potassium Iodide

分子式:KI

分子量:166.00

性状:本品は無色もしくは白色の結晶又は白色の結晶性の粉末である。

本品は水に極めて溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

本品は湿った空气中でわずかに潮解する。

3. 一般名:硫酸亜鉛水和物

化学名:Zinc Sulfate Hydrate

分子式:ZnSO₄·7H₂O

分子量:287.55

性状:本品は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末である。

本品は水に極めて溶けやすく、エタノール(99.5)に極めて溶けにくい。本品は乾燥空气中で風解する。

取扱い上の注意

1. 本剤は「劇薬」であるので、他の物と区別して保管すること。
2. 使用後は密栓し、直射日光を避けて保管すること。
3. 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い流し、なお異常が認められる場合は眼科医に相談すること。
4. 本剤が手指又は白衣等に付着した場合は、ハイポアルコール(チオ硫酸ナトリウム・エタノール溶液)等で脱色し、充分水洗いすること。

包装

25mL

***主要文献

- 1) 真泉平治:新臨床歯科薬理学,317~320,永末書店(1980)
- 2) 小椋秀亮ほか:現代歯科薬理学,591~592,医歯薬出版(1999)
- 3) 第16改正日本薬局方解説書,C-5062~5065,廣川書店(2011)

文献請求先

日本歯科薬品株式会社 お客様窓口
 〒750-0015 山口県下関市西入江町2-5
 ☎0120-8020-96/FAX 083-222-2220
 [ホームページ] <http://www.nishika.co.jp/>



製造販売元
 日本歯科薬品株式会社
 山口県下関市西入江町2-5